

# 時評

佐藤洋一郎 総合地球環境学  
研究所副所長・教授



東南アジアの国、タイの洪水被害が伝えられている。新聞報道などによると死者は300人に達したというから、その被害は今年の台風12号による日本国内の被害よりも大きいことになる。

現地の報道では、原因は大雨とされているようだが、チャオプラヤ川の支流に作られたダム

## タイの洪水被害

### 生活スタイル変化に一因

池の役割を果たしていた。ところが1980年代の後半以降変化が起きている。道路沿いの土地が次々埋め立てられ、工場やオフィスが立ち並ぶようになった。交通渋滞の解消のため道路が整備、拡張されていった。便利になった土地にはさらに工場やオフィスが建てられた。私

は、建物がコンクリートになり、道路が舗装されて自動車中心社会になり、交通渋滞の緩和に地下鉄が作られるという、まさに西洋近代型の生活スタイルの導入がある。その意味で今回の洪水被害には人の生き方が深く関係している。

執筆者略歴

◇さとう・よういちろう氏 京都大学大学院農学研究科修士課程修了。静岡大助教授を経て2008年10月から現職。植物遺伝学専攻。著書に「稲の日本史」(角川書店)「コシヒカリより美味しい米」(朝日新書)など。